

インクルーシブ研修会活動報告

大阪市立中学校教育研究会特別支援教育部 副部長 大阪市立巽中学校 松田裕貴

○インクルーシブ研修会について

昨年度から引き続き、今年度も任意研修である「インクルーシブ研修会」を大阪市立中学校教育研究会特別支援教育部主催のもと企画、運営させていただきました。今年は7月、11月、1月に開催し、会場校へ来ていただいた参加と、Teamsを利用してオンラインでの参加の2つの参加方法で行いました。

7月に行った1回目（累計第3回）は「自立活動」と「不登校生徒の対応」をテーマに、お集まりいただいた先生方同士での交流を行いました。オンライン参加の方については、オンラインで参加されている先生同士でグループを作り、オンライン上で交流を行いました。11月に行った2回目（累計第4回）は「通級って何？～通級指導教室の今とこれから」と題して、通級指導教室を担当されていた大阪市立西中学校の寺本紀夫先生を講師に招き、通級指導教室の概要やご自身の経験談等を踏まえた内容を、講義形式にて研修を行いました。参加者はこれまで一番多い、59名の先生方（オンラインを含む）にご参加いただきました。3回目（累計第5回）は「自立活動の実践について」をテーマに、先生方の交流を中心に行いました。

どの回でも時間が足りない程、先生方の交流に熱が入り、各校の取り組みについての相談や悩みなどを話す機会となり、有意義な時間を過ごしていただけたと感じています。

今年度3回の合計で112名の先生方にご参加いただきました。研修会後のアンケートでは、9割の先生方が「参考になった」、「理解が深まった」とご回答いただいたこともあり次年度も継続して取り組みたいと考えています。まだ参加したことがない先生方はぜひ来年度、ご参加いただければ幸いです。

第3回 インクルーシブ 研修会

令和4年7月4日（月）
16:00開始

会場
大阪市立巽中学校
(Teamsを利用してオンライン参加も可能)

対象
大阪市立中学校の特別支援学級担任
大阪市立中学校の通級指導教室担当者

主催
大阪市立中学校教育研究会 特別支援教育部
大阪市中学校特別支援教育担任者会

内 容
◆各校の取り組みの情報交換会◆
◎テーマ
・自立活動について
・不登校生徒の対応について
以上のテーマを中心に、参加の先生方で当日テーマを決めていきます。
※オンライン参加でも交流していただけます。

申し込み
SKIPの個人連絡にて、新北野中学校鈴木大介まで参加の意向と参加方法（実地オンライン）を併せてご連絡ください

申込期限
令和4年6月30日（木）まで

問い合わせ

TEL:6757-0001巽中学校 松田まで
※申し込み先と問い合わせ先が違いますので、お間違えのないようご注意ください。

第4回 インクルーシブ 研修会

令和4年11月29日（火）
16:00開始

会場
大阪市立巽中学校
(Teamsを利用してオンライン参加も可能)

対象
大阪市立中学校の特別支援学級担任

主催
大阪市立中学校教育研究会 特別支援教育部
大阪市中学校特別支援教育担任者会

内 容
◆講演◆
『通級って何？～通級指導教室の今とこれから～』
講師：大阪市立西中学校元通級指導教室担当 寺本 紀夫
◆交流会◆
各校での取り組みや疑問点などの情報交換をしていただきます。
※オンライン参加でも交流していただけます。

申し込み
SKIPの個人連絡にて、新北野中学校鈴木大介まで参加の意向と参加方法（実地オンライン）を併せてご連絡ください

申込期限
令和4年11月24日（木）まで

問い合わせ

TEL:6757-0001巽中学校 松田まで
※申し込み先と問い合わせ先が違いますので、お間違えのないようご注意ください。

第5回 インクルーシブ研修会

INCLUSIVE TRAINING

日 時

令和5年1月24日（火）
16:00より

会 場

大阪市立巽中学校
(Teamsでのオンライン参加も可能)

対 象

大阪市立中学校の特別支援学級担任
大阪市立中学校の通級指導教室担当者

主 催

大阪市立中学校教育研究会 特別支援教育部
大阪市中学校特別支援教育担任者会

内 容

「自立活動の実践について」

- ・参考資料の紹介
- ・自立活動について各校の情報交換
- ・その他のテーマについて各校の情報交換

申し込み

SKIPの個人連絡にて、新北野中学校 鈴木大介
まで参加の意向と参加方法（実地orオンライン）を併せてご連絡ください。

申込期限

令和5年1月20日（金）まで

問い合わせ

TEL: 6757-0001 巽中学校 松田まで
※申し込み先と問い合わせ先が違いますので、お間違えのないようご注意ください。

第4回インクルーシブ研修会

令和4年11月29日 於大阪市立翼中学校（含リモート参加）

大阪市立西中学校 教諭 寺本紀夫

通級って何？～通級指導教室の今とこれから

第4回インクルーシブ研修会として、上記のテーマでお話をさせていただきました。

私がこれまで9年間通級指導教室を担当してきて学んだ基本的な内容を、今後通級指導教室に様々な形で関わっていかれる先生方に分かりやすく伝えるという目的で、簡単にまとめて説明するように心がけました。内容としては

- ① 通級指導教室を理解するための参考文献
- ② これまでの大阪市の通級指導教室の基本制度
- ③ 生徒受け入れの実際の流れ
- ④ 通級指導教室の指導内容と対象生徒について
- ⑤ これまで行ってきた指導事例

といった内容でお話ししました。

さらに後半では、いま大阪市が置かれている特別支援教育の状況（多くの先生方が戸惑い、今後に不安を感じておられる状況）について、いろいろな資料をもとに整理して解説し、大阪市の今後の方向性についても自分なりの考え方として推測し、大切なのは自分で調べて考え、判断することだとお伝えしてお話を終えました。

その後質疑応答として、通級指導教室の実際の運営や指導について、会場の先生だけでなくリモートを通して熱心なご質問を頂戴し、真摯な意見交流ができたと思います。

会場には十数名の参加者、リモートを通しては40名以上のご参加をいただきました。

このお話の中で紹介した参考資料とその後の追加の資料を紹介します。この問題についての理解の助けになると思いますので、関心のある方は入手しお目通しされることをお勧めします。（ネット検索からダウンロードできます）

また最後にこの時に使用したパワーポイントのスライド資料を掲載します。（一部改変しています。）

【資料 1】から【資料 7】は研修に際して参加者に配布した資料です。パワーポイントの内容と併せて見ることで、大阪の特別支援教育を取り巻く背景をよりはっきりと理解することができます。

【資料 1】文科省

「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について（通知）」R4. 4. 27

- ・様々な動きのきっかけになったもともとの文書です。

【資料 2】文科省

「特別支援教育（令和 2 年度）第一部 データ編」（P. 44～45）

- ・都道府県別の特別支援学級設置数です。大阪の独自性が分かります。

【資料 3】東京都教委：「就学相談リーフレット」

- ・東京都の就学相談の仕組みで、大阪との違いが分かります。

【資料 4】東京都教委：リーフレット「東京都の発達障害教育」

- ・拠点校から巡回指導を行う「特別支援教室」が全校に設置されています。
- ・ASD, LD, ADHD や情緒障害の児童生徒は「特別支援教室」に入る制度です。

【資料 5】朝日新聞 EduA（2022. 6. 9）

「自閉症・情緒障害特別支援学級を作って」増えるニーズ 都内の 37 自治体が設置せず

- ・東京都では「自閉・情緒学級」がほとんど設置されていません。

【資料 6】朝日新聞 EduA（2022. 7. 27）

大阪の「ともに学ぶ教育」が変わる？ 「特別支援学級で半分以上の授業を」文科省の通知が波紋 分断危ぶむ声も

- ・枚方市の混乱の様子と通知による影響を解説しています。

【資料 7】枚方市：「今後の枚方市の支援教育について（お知らせとお詫び）」

- ・性急な方針変更ののち、全面撤回に至った文書です。

【追加資料 1】から【追加資料 4】は研修会では使用しませんでしたが、研修の内容に関して更に参考になる資料としてこちらも見ることをお勧めします。

【追加資料 1】文科省

「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について（Q & A）」 R4. 11. 4

- ・通知に大きな反響が起きたことで、追加で発表された文書です。
- ・通知と併せて読むことで、文科省の決意と意図がより明らかになります。

【追加資料 2】枚方市：「よくあるご質問について（11月QA追記版）」

- ・沸き起こった疑問への回答。より妥当なものとなっています。
- ・大阪市の方向性への参考にもなると思われます。

【追加資料 3】大阪市：「大阪市の就学相談リーフレット」令和4年4月改定

- ・この時点では「大阪市の特別支援教育」の方針が保たれています。

【追加資料 4】大阪市教育委員会からの事務連絡：「令和5年度 通級による指導及び特別支援学級状況報告書の再提出（3回目）について」（R4. 11. 28）に付属していた「就学・進学相談に関するQ & A」

- ・通達が出されてからの委員会の苦心慘憺ぶりが読み取れます。